（昭和五年三月廿一日第三種郵便物認可）　昭和十二年八月二十日【日刊】　新いわき　金曜日　第二千百三十四號　（一）

八月十九日　夕刊

日刊（毎日曜祭日休刊）一ケ月廿五錢　郵税十五錢一部二錢
廣告料　一行四十錢　場所指定　二十錢增
發行兼編輯印刷人　牛谷政喜
發行所　福島縣平市大町二三　新いわき新聞社

平市の修正豫算

警備費斧鉞の内容

手當を下げて奉仕の押つけ

但し議員の費辨は値上げ

平市が第一歩を踏み出した初年度豫算の歳入の部は昨報したが歳出方面は各款額別項記載の如くで原案の六十一萬五千七百四十一圓から八百六十六圓を削つた委員會の修正は役所費に於て市長の年俸二千を二千四百圓としたる增額と物議を起した警備費の大削減が經常部の取捨であつて警備費に對する急激な引下げは組頭以下幹部級の手當を悉く半額に落した外出場手當を從來の五十錢から三十錢に引下げ原案の八千三百六十圓より九百四十九圓に上る大きな數字を奪ひ七千四百十一圓に減額した

この大削減には贊否兩者の間に猛烈な論爭を交へられたが多數を制する修正案の贊成者に都市と村落とを辨へぬ不認な混コウ論奉仕消防に對する間違つた解釋、犧牲奉仕に基づく精神消防に手當は問題でないと唱ひる穩當でない意見を放言されて遮二無二修正案の可決を多數で押切られたが修正支持の陣を構へた所記議員の力説高唱を以てすれば國家に奉公する人々に對して論功行賞をも必要としなくなりはせぬかを疑はれ且つ奉仕と稱し義務と呼ばれる點よりすれば自ら顧みねばならぬものに市會議長及び副議長、參事會、市會議員の費辯の値上げがあらう平町としての本年度の當初豫算は議長七〇圓、同代理五五圓、議員四〇圓であつたものが市の誕生の初一歩早々

議長一二〇圓　副議長九〇圓　參事會員三〇圓　議員六〇圓

に引上げられ參事會員は議員の費用辨償を加算されるので九〇圓となるもので甚だしく我れに厚く他に薄い譏を招き警備費に對しての今回の態度は政黨屋共の常套手段とする或る種の魔手と非難されて居り殊には同關係の鐘樓番人給二三〇圓まで五六圓引下げて百七十四圓に減額してゐる次へで臨時部にありては寄附金の原案一二九六圓を七九六圓に減じ補助費では三九七一圓を四三七一圓に增額してゐる

平市豫算の歳出

經常部と臨時部

市制施行初年度に於ける平市の決定豫算に就ては歳入部の各款額を昨報したが歳出を上ぐれば左記の如く經常部廿九万五百卅二圓、臨時部卅萬四千三百四十三圓合計六十一万四千八百七十五圓となる

▲歳出經常部　神社費六一五圓　會議費二九一一圓　役所費五六九九三圓　土木費二〇二二四圓　小學校費八一〇九七圓　商業學校費二三三八四圓　青年學校費五三九〇圓　學事諸費四二六圓　トラホーム豫防費五九圓　傳染病豫防費一〇五二圓　寄生虫病豫防費一〇五圓　傳染病院費三三七六圓　汚物掃除費九九〇〇圓　水道費一二七二三圓　公園費一〇九〇圓　火葬場費一一七二圓　勸業費一二七〇圓　統計八〇〇圓　職業紹介所二八八二圓　社會事業費三一四圓　救護費一九四圓　警備費七四一一圓　徴發物輸送一圓　財産費四五圓　諸税負擔三〇二圓　公金取扱費五一〇圓　公會堂費四六五圓　雜支出一五五五圓　公債七〇九九九圓　戻入金一五五六圓　地方改良費三六九〇圓　豫備費九〇〇〇圓　計三一一二九七圓

▲歳出臨時部　役所費九〇〇圓　土木三六六八八圓　小學校費三八九九圓　商業學校費四〇圓　選擧公營費四〇〇圓　警備費五三〇〇圓　公園費八〇〇圓　寄附金七九六圓　訴訟費一三〇圓　寄附金七九六圓　補助費四三七一圓　水道費一五二一八圓　都市計畫調査費一二〇二圓　土地拂下繼續費本年度支出一三五〇圓　商業學校敷地買收費本年度支出一五〇六圓　公會堂費八〇〇〇〇圓　商業學校建築八〇〇〇〇圓　小學校敷地費一八六九六圓　學校增築費一五〇〇〇圓　火葬場費三五〇圓　雜支出四〇七九圓　借入金償還三一一四四圓　市制祝賀費二五〇〇圓　計三〇四三四三圓　經常臨時合計六一四八七五圓

常識講座

第四階級と呼ばれる階級はプロレタリアート（無産者）の事だ、第一階級は封建時代の國王領主、諸大名、第二階級は貴族、僧侶の位置第三階級は一般大衆と云ふに分稱されてゐる

小麥の檢査高倍加する

縣穀檢平支所で

縣穀檢平支所管内に於ける本年の小麥の檢査高はザラ取引を絶對に禁止された强制檢査の施行により最近までに一萬九千六百俵に達し昨年の檢査數量に較ぶれば倍量に上つてゐるが尙ほ相當の殘りがある見込みである尙ほこの强制檢査のため中間商人の介在が許されず生産家の販賣利を喜ばれてゐる右支所管内出張所別の檢査高を上ぐれば左記の如くである

▲支所受持八四〇〇俵　勿來出張所八二〇〇俵　四倉同三〇〇〇俵（以上）

購買力割合不活動

日支事變の緊張か

銀行の數字は殖えたが引立ぬ

平地方の本年の盆景氣

平市に於ける舊盆蘭盆景氣は一般の懷ろが決して乏しくないと見られるものに比して割合引立たず大体昨年より稍良好と云ふ程度らしいこれを常銀支店の窓口等に見るも附近炭礦の好況から出入の數字に於ては殖えてゐるが商店側の動きがこれに伴つて居らず其れでも舊盆の仕入であらう八月に這入つてからの手形の動きが相當繁しく多い時は一日五十通ぐらゐに達した其れが三百圓平均と見ても一萬五千圓で最近までに廿五、六萬圓を算してゐるが店頭の品の動きが案外活潑でない樣である原因は日支事變による一般の緊張と見るより他に影響を窺はれず此の不活潑は愈よ盆に這入つて幾分生氣を示すものでなからうかと云ふのが各商店の望む所である樣だ

舊盆三日間構内で踊

片倉で懸賞附の假裝

役員の審査で一等から五等迄

平町の片倉製糸工場では今十九日の舊十四日を午前中の作業に止め盂蘭盆の三日間を引續いて休業し從業員慰安の爲め同社構内廣場に櫓太鼓を設け今夜から盆踊を催す筈であるが懸賞附の假裝を行ひ午後七時頃から出場する各自思考をこらした裝ひに工場長以下役員の審査で毎夜左記の賞品を授與されるが前記三日間の毎夜十一時頃までの同構内は從業員四百の競裝と踊で相當賑ふことであらう

懸賞一等モス一反　二等單衣一反　三等作業服　四等襟一筋　五等クラブ美身クリーム（以上）

木炭販賣統制協議會

石城は來九月一日

縣主催の木炭販賣統制協議會は本月三十日相馬、三十一日双葉、九月一日石城の三ケ所で開かれる石城は同日午前九時から平市國体事務所樓上に關係者を會し縣から經濟部長山林課長、木炭檢査本所から臨席需給關係調節のため縣の指導斡旋により共同出荷で生産品を捌き統制資金等も低利をもつて融通されるもの〻如く其の結果生産者に利するものはあるが自然從來の仲買商人の影が薄くなる筈である

平局築舘氏榮轉

平郵便局主事築舘正氏は今回山形局郵便課長に榮轉近く赴任の筈

好間江議員選擧

石城郡好間江筋水利組合議員選擧は來る二十七日午前八時から午後四時まで平市及び好間村役場に於て行はれるが平方からは定員二名で平市の現議員は九品寺前の鈴木惣五郎氏である

幼心の赤誠

平市字一丁目管本庄一郎さん同幹子、同しげ子二嬢は皇軍に對する慰問袋各一個また北村とよ子、高木すが子、金子てるゑ、柳内良子の四嬢は同慰問袋一個を昨十八日市役所に寄託した

全會津産業振興共進會に濱木炭

會津木炭同業組合が來る十一月十一日から五日間坂下町に開催される會津農林學校創立三十年記念並に縣立農事試驗分場創立二十年を記念する全會津産業振興共進會に參考品として縣下の優秀品を陳列の筈で濱通り木炭同業組合にも黑炭の檜、雜各一俵、白炭檜雜各一俵の寄贈出品方を申込んだ

廿三日に繰延べ俵米共販

相場は安値豫想

石城郡販聯に於ける來る二十一日の俵米共販は恰度舊盆十明二十日及び二十一日は舊盂蘭盆十五、六の兩日に相當り工場員慰安の爲め休刊いたします

新いわき新聞社

六日に當るので二十三日に繰延べられたが出荷見込は千二三百俵ぐらゐ相場は僅少の安値豫想で中には十二圓台割れがあるだらうと云はれてゐる

銅線泥と臟物故買

共に平署に捕まる

石城郡内郷村の綴居住磐炭綴坑のコンプレッサー運轉手鈴木雅雄（四）は同坑内に作業中の本年五月下旬から八月上旬に亘る間に於て機電係坑内工夫詰所から前後數十回に銅線の切れ端及び鉛の類を約十二貫目窃取これを村内大字小島字新町古物商松本高次郎（三）に情を明かして賣却したることを發覺し雅雄は窃盗高次郎は臟物故買で平署に檢擧取調中

舊惡露見

平署に檢擧さる

石城郡箕輪村の大利字井田木農新妻三郎（三）昨年十月同村役場使丁に被雇中平市字八幡小路酒井秀次郎から納金十圓五十六錢の爲替在中を明記して送られた書狀を受取り隣村好間郵便局で私かに拂戻し金五十錢を費消したところを吏員に發覺し詫を入れて返濟したるを平署に探知されて檢擧取調べの結果同人は更に昭和九年三月當時の平税務署長但野喜八氏が公用で同村役場に出張の際現金在中の折鞄を草野書記に預けたのを見て内金十圓を抜き取り又十一年五月中は村内字作田片寄秀治方の

高級實用便箋
白梅便箋
忠孝便箋
文鳥便箋
名作畫箋
代理店　文魁文堂　電三一三

御洗濯御用命は　高畠呉服店　平市電三六六

一人娘やす子（二〇）の許に侵入して拒絶されたことを自供し近く書類送局されると

今晩は北東の風、曇
明日は東の風、曇一時晴
（小名浜測候所）

農業

夏果物の王座 西瓜の評

(3) 東部の消費量と人氣を迎るもの

この若取りは著しく市場の聲價を落し勿論價格にも影響して來て却つて損失を招くことになるから生産者は一様にこの點に充分なる注意を怠らぬことが肝要である、西瓜の相場は他の果物に比して天候の支配を受けることが甚だしく先き行きの豫想は困難であるが氣候の變化と著しい增産がない限りそう急激に下落するやうな相場の狂ひはなく平年的價格を維持されることであらう、

尙ほ出荷に關して注意を望まれてゐる神田青果市場の云ふところを上ぐれば

(1)絶對に若取りをせざること、

(2)病虫害のあるもの或は變形のものを混入して出荷しないこと、

(3)餘り小さなうらなりを出荷しないこと、

等の三點を掲げてゐるから一般生産者はこの點に留意されて有利に處分されるやう努められたいものであると語られてゐる、

西瓜は石城地方では海岸地方面に古くから作られてゐるが栽培が甚だ少なく總收獲高は精々七、八萬貫に過ぎない現狀であるが上手にやれば決して不利なものではなく殊に海岸地十數里の砂漠地を存して他の農作物には不向な同地を好利用したならば農村更生の大なる助けであらう(完り)

◇ 殺印刷物も御引受致します
新いわき新聞社 印刷部

慢自の品良優も豚も牛
市場 平田
肉の都
命は

看護婦の求めに應じます
看護婦會

漢方はりくすり 生公丸
脳炎 肋膜炎 氣管支 扁桃腺炎 神經痛 ロイマチス 關節炎 中耳炎 骨膜炎 ヒ疾 腰冷痛 打身 くじき ルイセン 凍傷 火傷等特効有り
効
本藥は漢方貴藥のみ調製せる粉末藥にしてこれに必らず生公丸と謂いた故の立て有るお品
使用法にあり。赤地に黑の文字で生公丸が特約販賣所です。
價定 四〇瓦入 五十錢 八〇瓦入 九十五錢 四〇瓦五袋入 二円廿錢 四〇瓦十袋入 四円
平市 五丁目角 山野邊藥局

食事。喫茶。酒場を兼ねた。
レストラン サロン
平田町 電三五二

産科、婦人科專門
根本醫院 (平市南町 電話三四番)
病室 入院隨時
增築 手術室完備
根本庄次郎 根本貞雄

內科、小兒科
入院應需
大森醫院
醫學士 大森勇
平市南町 電二二五八番

大見切〇〇〇〇 〇〇〇〇大見切
奉仕品
婦人洋傘 子供帽子 清涼着
是非御來店を御待ちして居ります
にッルヤ 平 電一四〇二

藤沼醫院
平市紺屋町 電五〇七

スペイン G・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1・10
婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舗 (電3)

寿司 入井
お料理 仕出し
平市南町 電話七二八番 喜久水

債券 公債 両替 金融
多田井質店
小市大工町 電話五九一番

久
横山商店
債券部 雜貨部
平市仲間町
振替東京〇一六〇九番 電話二七一番

會員(同志)の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します
便利で經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
平市田町十八(西村屋横町)
日下家政婦會
會長 日下すい子
新設電話 七二三番

和洋鋼鉄 岡屋
良品廉價
平城平五丁目